

製品名: APG5L マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM84984**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 32 kDa; Observed MW: 55 kDa

抗原情報

遺伝子名	APG5L
別名	APG 5L; APG5; APG5 autophagy 5 like; APG5 like; APG5-like; Apoptosis specific protein; ASP; ATG 5; ATG5 autophagy related 5 homolog; Autophagy protein 5; hAPG5
遺伝子 ID	9474.0
SwissProt ID	Q9H1Y0
免疫原	大腸菌で発現した精製組み換えタンパク質。

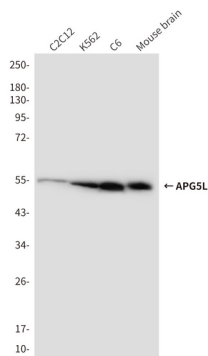
背景

オートファジーに必須。ATG12と共役し、隔離膜と会合してカップ型の隔離膜とオートファゴソームを形成する。酸化ダメージ後のミトコンドリアの品質管理、そしてその後の細胞寿命に関与する。

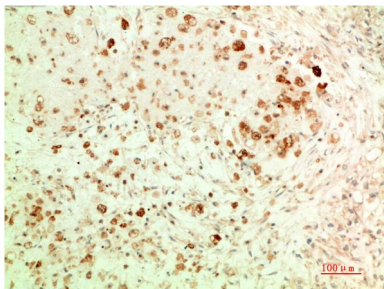
研究分野

オートファジー、アポトーシス

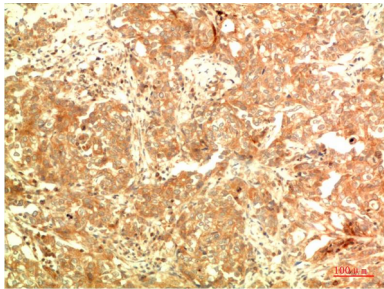
画像データ



APG5L抗体を用いたC2C12、K562、C6マウス脳溶解物中のAPG5Lのウェスタンブロット分析



APG5L抗体を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



APG5L抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。